

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 2 部門第 4 区分
【発行日】平成 18 年 4 月 20 日 (2006.4.20)

【公開番号】特開 2005-111831 (P2005-111831A)
【公開日】平成 17 年 4 月 28 日 (2005.4.28)
【年通号数】公開・登録公報 2005-017
【出願番号】特願 2003-349421 (P2003-349421)
【国際特許分類】

B 2 7 K 5/00 (2006.01)

【F I】

B 2 7 K 5/00 F

【手続補正書】

【提出日】平成 18 年 3 月 3 日 (2006.3.3)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

良熱伝導性かつ耐熱性の素材で被覆した木材を、発火点を超えない高温環境下に置き、該木材を乾燥させることを特徴とする木材乾燥方法。

【請求項 2】

前記良熱伝導性かつ耐熱性の素材は、金属箔である請求項 1 に記載の木材乾燥方法。

【請求項 3】

前記金属箔はアルミニウム箔である請求項 2 に記載の記載の木材乾燥方法。

【請求項 4】

前記木材が丸太である請求項 1 乃至 3 のいずれかに記載の木材乾燥方法。

【請求項 5】

前記木材の少なくとも木口以外の周囲全体が前記素材で完全に被覆された状態で前記高温環境下に置かれることを特徴とする請求項 1 乃至 4 のいずれかに記載の木材乾燥方法。

【請求項 6】

良熱伝導性かつ耐熱性の素材で被覆した木材を、発火点を超えない高温環境下に置き、該木材を乾燥させることを特徴とする木材乾燥装置。

【請求項 7】

前記良熱伝導性かつ耐熱性の素材は、金属箔である請求項 6 に記載の木材乾燥装置。

【請求項 8】

前記金属箔はアルミニウム箔である請求項 7 に記載の記載の木材乾燥装置。

【請求項 9】

前記木材が丸太である請求項 6 乃至 8 のいずれかに記載の木材乾燥装置。

【請求項 10】

前記木材の少なくとも木口以外の周囲全体が前記素材で完全に被覆された状態で前記高温環境下に置かれることを特徴とする請求項 6 乃至 9 のいずれかに記載の木材乾燥装置。